

令和7年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行計画書(過疎・中山間地域活性化枠・集落等活性化事業)

(単位:千円)

番号	新規・継続	共通採択方針			事業名	事業主体	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所	備考	
		重点		個別 テーマ										
		人口減少 対策	過疎中											
(県北地方振興局)														
1	計画策定 1			○	竹・農・地再生プロジェクト	竹ノ内・赤土地区協議会	ソフト	350	300	当該地区では、人口減少や高齢化に伴って地区の担い手が少なくなり、土地の荒廃も進んでいる中、大学生(前橋工科大学)と連携して地域課題解決に向けた取組を行っている。 その中で、地区の活性化のため、大学生と連携し、具体的な集落活性化の再生計画を作成を目的に活動に取り組む。 ①集落再生計画作成に係る大学生参加型ワークショップ ②集落再生計画書の作成	R7.4.1～R8.3.31	二本松市 竹ノ内・赤土地区	大学生事業 (R3～R6年度)	
2	新規			○	地産地消	金谷川の再生と未来を拓く事業	金谷川地区人づくり まちづくり協議会	ソフト・ ハード	4,435	3,548	人口減少が急速に進む金谷川地区において、60～80代の高齢者が中心となり、地区の記録誌の制作や竹林の再生活動等に取り組むことで、高齢者の活力、次世代の活動の機運醸成につなげていく。 ①記録誌の作成(※) ②竹林の再生活動、発酵食品づくり等 ③古着再生活動 ④先進事例の視察 ※約50年間の地域の出来事等を聴き取り調査を基に制作。	R7.4.1～R8.2.28	福島市 (旧金谷川村)	
3	継続 2			○		多様な価値を育む棚田と都市をつなぐ体験交流プロジェクト	布沢集落	ソフト	1,676	1,330	令和3年に「国のつなぐ棚田遺産」に認定された布沢の棚田を活用し、地元の小学校や県内外の大学、首都圏の団体と連携して、生き物観察会や農業体験等のイベントを開催し、若い世代に対し棚田の多様性を発信するとともに、ふるさとの誇りを取り戻す。 ①生き物観察会、環境学習会の実施 ②棚田モニターツアーの実施 ③棚田の芸術祭の実施	R7.4.1～R8.2.28	二本松市 布沢集落	
4	継続 2			○	人づくり	大波DIYプロジェクト	大波会	ソフト	2,007	1,605	人口減少と高齢化が著しく進んでいる大波地区において、地域住民が自ら創り上げた交流拠点を活用し、地域課題の解決に向けた取組を実施するとともに、地域の魅力を体験する機会を設け、地域への愛着心の醸成を図る。 ①交流拠点を活用した、ワークショップ等の定期的な実施 ②地域ニーズのヒアリング ③情報発信の強化(HP充実、SNS講習会) ④先進地視察	R7.4.1～R8.3.31	福島市 大波地区	
5	継続 2			○	地産地消	住みよい石田づくりプロジェクト	石田ふるさと振興会	ソフト	349	250	人口減少、高齢化が進む石田地区において、マルシェの開催等を通し交流人口の拡大を図り、そこに住む子どもから高齢者までが、安心して生き生きと元気に暮らすことができる魅力ある地域づくりを目指す。 ①石田マルシェの開催 ②地域資源を活用した6次化商品の開発	R7.4.1～R7.12.28	伊達市 石田地区	
6	継続 2			○	地産地消	過疎地域月舘ピンチをチャンスに!事業	ツキラボ	ソフト	1,600	1,280	地域住民が参画した地域づくりの検討やマルシェイベントの継続的な開催を通し、消費の活性化を図るとともに、次の時代へバトンを渡し、楽しく住み続けていくために次世代の人材育成と生業の継続を図る。 ①マルシェイベントの開催 ②若年層向けの果樹栽培体験や地域活動支援活動の実施 ③地元特産物を活用した6次化商品の試作 ④地域活性化に係る検討会の実施	R7.4.1～R8.3.31	伊達市 (旧月舘町)	

令和7年度地域創生総合支援事業(サポート事業)執行計画書(過疎・中山間地域活性化枠・集落等活性化事業)

(単位:千円)

番号	新規・継続	共通採択方針			事業名	事業主体	事業区分 (ハード/ソフト)	事業費	補助金 決定額	事業概要	実施時期	実施場所	備考
		重点		個別 テーマ									
		人口減少 対策	過疎中										
7	継続 3		○	地産地消	屋敷道(フットパス)の再生、里山資源の再考(再興)による地域活性化事業	北戸沢保全会	ソフト	526	420	当該地区では人口減少や高齢化に伴って地区の担い手が少なくなり、耕作放棄地も増えてきていることから、大学生と連携して地域課題解決に向けた取組を行ってきている。 その中で、屋敷道(フットパス)を再生する取組を行い、その持続的な利活用のための里山資源の資源化(薪、炭等)手法の確立、また、それらを通じた地域間交流に取り組むことで地域の活性化を図る。 ①屋敷道(フットパス)の保全作業 ②周辺農地での新規作物の試験栽培 ③里山資源(落葉等)の堆肥化試験 ④①～③内での地域間交流会の開催	R7.4.1～R8.3.31	二本松市 戸沢地区	大学生事業 (R4～R6年度)
累計					(県北地方振興局)	7件		10,943	8,733				